



くさば ときひろ
草場聡宏さん

佐賀県教育庁教育政策課教育情報化推進室主幹

佐賀県出身。昭和60(1985)年、佐賀県公立中学校の教員となる。平成3(1991)年、大学院学校教育専攻教育方法コース入学。21(2009)年から3年間、佐賀大学文化教育学部准教授を務め、今年度から現職。



たか おゆうじ
高尾悠司さん

高松市立円座小学校教諭

香川県出身。平成22(2010)年、学校教育学部社会系コースを卒業し、高松市立円座小学校に着任。今年度は4年生を担当している。



→ ICT機器の活用についての研修会で講師を務めました



修了から20年を経て 修論のテーマを実践することに

大 大学院を受験したのは教員6年目。「コンピュータを使った学習と動機付けの関係」を中心に学び、中学校教員として少し自信を持てるようになりました。大学院生活を挟む6年間、小中併設校での勤務、代用附属校(附属学校のように教育実習を受け入れる公立校)での勤務、米国への短期派遣、県立中高一貫教育校の開校準備など、幅広い経験をさせていただきました。これも「もっと勉強しなさい」という

先輩方からの温かい励ましであつたかと思えます。さらに、平成21(2009)年からの3年間は人事交流によって大学勤めとなり、小中高大勤務、という珍しい記録も達成できました。今春から「先進的ICT利活用教育」の推進を担当しています。大学院修了から20年を経て、再び修論のテーマに初心に戻り、子どもたちのために微力ながらも頑張りたいです。

→ 毎日、試行錯誤しながら教材研究に取り組んでいます



院生の先輩に教わったことを 身をもって実感しています

社 社会科教育を学んだ米田豊教授の研究室では、学部生と院生と一緒にゼミをしていました。レポートに困った時、何度も院生の方に相談し、的確なアドバイスを頂きました。また、現場の話もたくさん聞けて、とても勉強になりました。小学校教員になって3年目を迎えた今、学校は一つのチームであると感じています。学校は校長、教頭、教諭、養護教諭、栄養教諭、調理員など、さまざまな人の力

で動いています。経験の少ない教員は、先輩教員から一つでも多く吸収しなくてはなりません。そのためには、「分からないことをそのままにしない」「自分から聞く」という姿勢が大切です。米田ゼミでは、社会科教育だけでなく、院生方から教員に必要な心得についても学びました。学校というチームの一員として、先輩方から多くのことを吸収しながら、子どもたちと共に成長していきたいです。

▶ 同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

第32回大学院同窓会・兵庫大会の開催

大学院同窓会は各都道府県支部の持ち回りしており、今年は兵庫県で開催します。詳細については「Hyokyo-net」をご覧ください。

- ◎開催日 7月28日④・29日⑤
- ◎会場 第一樓(神戸市中央区)
- ◎内容 修了生の教育実践研究活動等に係る表彰、教育実践発表、講演「平清盛と神戸」/ 田辺真人さん(園田学園女子大学名誉教授)、神戸市内の有名な施設や記念館の見学